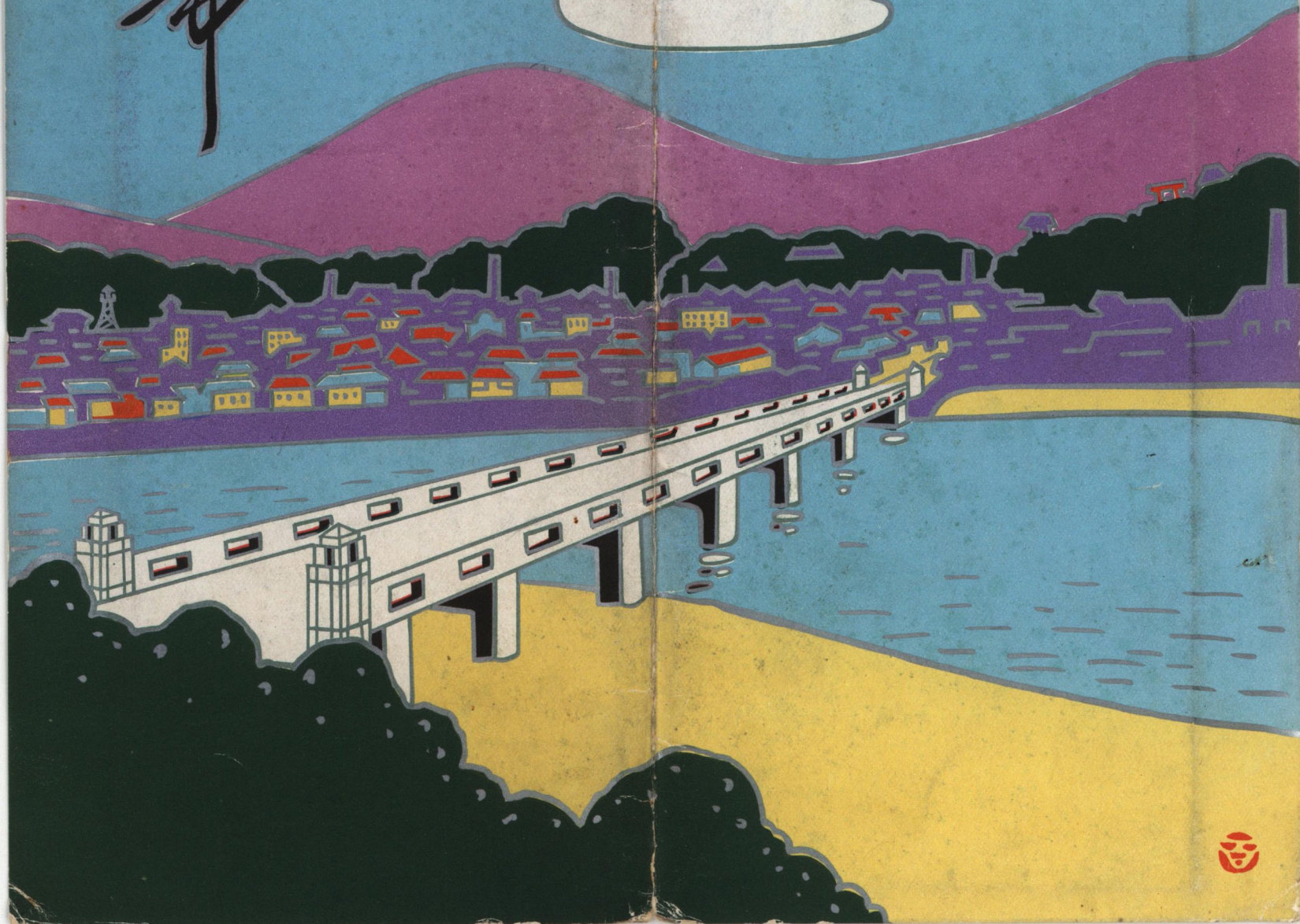


市平

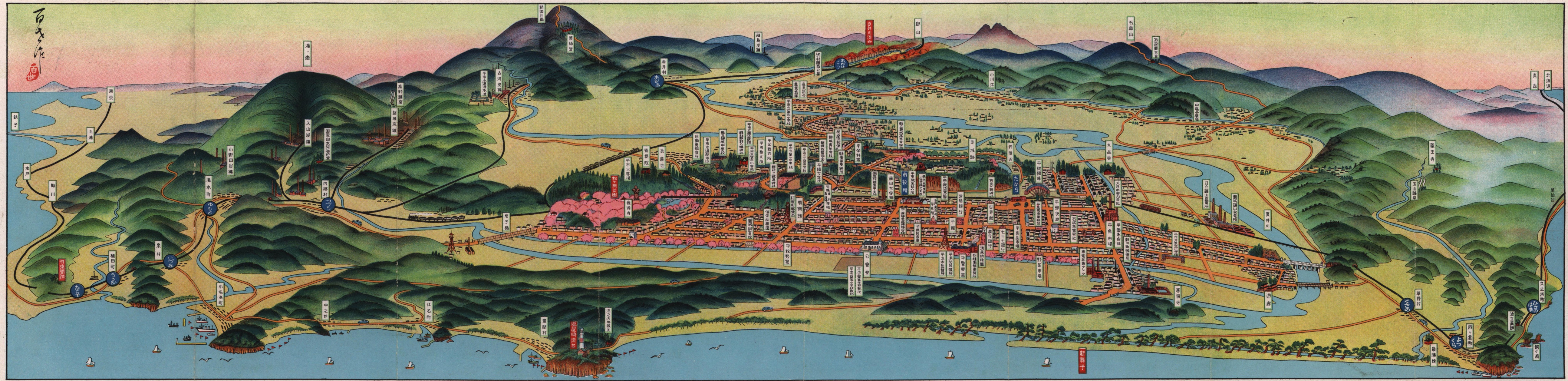
福島県立

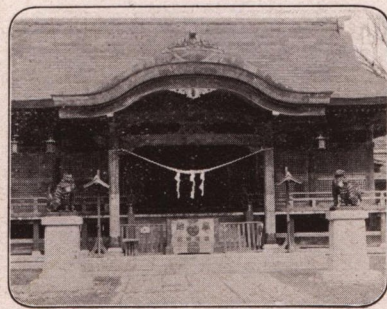
L 291.8

T9



平市と附近景勝案内





社神倉子社縣



社神幡八社縣



墓ノ公村澤



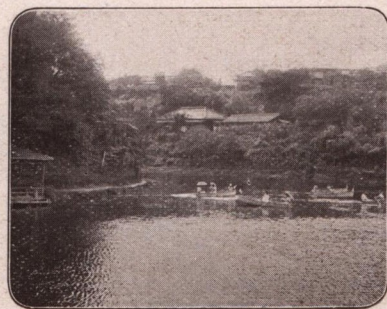
堂音觀森石



碑魂忠園公岡ケ松



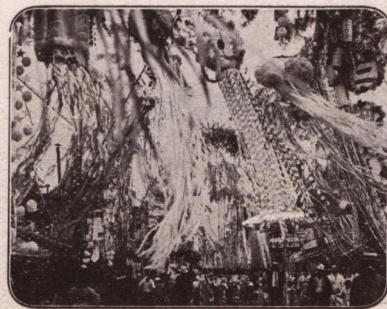
況實ノ市日二正舊



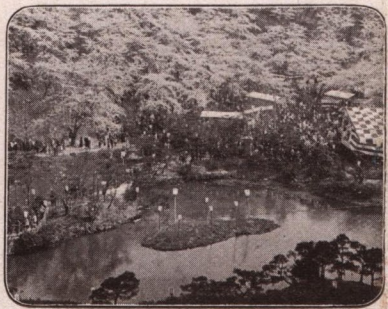
澤後丹



景夜ノ踊盆市平



祭夕七物名平



色春ノ畔池園公岡ケ松



園躑躅園公岡ケ松



櫻ノ堤川新

平市の輪廓

位置と鳥瞰圖

本市は福島縣の東南、東太平洋と、西國井嶽峯の間にあり。夏井川は市の中央を貫流して東南太平洋に入る。海拔凡そ十四メートルの沃土と水利に恵まれた都會で、もと飯野平と云つたもの今は平である。人口三万三千、四通八達、國縣道と、鐵道と又自動車網の競争に四方から集散する旅客物資の輻輳や、人口の増殖や、郵便電信の繁忙、商工業の盛衰それらから實地にはきの炭礦等の背景は、東海岸七濱の漁撈水産と相俟つて将来、大企業社會の勃興を促しつゝ、且下計畫中の大平都市建設へと邁進しつつある。

常磐線

一名、海岸線である。郡山と同じく、東北鐵道の交叉點、近來本省の理想スピード化が實現されるれば東京―平間二一五秒を僅々三時間に短縮させ「行こか仙臺、歸るか東京」の唄も茶飯前の事とならう。

特徴

東北の大阪と謳はれる市民の潑刺たる気分と、住み易い情味と、低廉で、毎日口にせらるゝ七濱の鮮魚のかず／＼に、驛前は、海と山の行樂や、商取引の人々の往々くるさで、仙臺以南の線唯一の乗降數字である。

臨時列車

旅客吸收、誘致策として、海水浴、小名濱、四倉、豊間、平公園の櫻、夏井嶽谷の躑躅と紅葉、岡井嶽縁日と、名物盆踊とちやんがら念佛等々々々力を入れて、宣傳してゐる。それだけ、彼の一步早くから世に喧傳されてゐる湘南、房總の地に比して、只、設備の點に於て不備の點はあるが、風趣と環境のよさと、人情美とを具備し、最近、年と共に殷盛難路を極めるに至つたのも偶然でない。

街案内

維新の兵火に残つた平城唯一の舊蹟である、之の澤池は、丹後なる者、難工の築堤に、奮然人柱に立つたと謂ふ劇的なもの、今は十分の一に縮小した湖面上を、モダンな白いボートが鳴のやうに浮いてゐる。湖畔の文化住宅が翠鬱の中から、瀟灑な欄間を隱見させる處、スウィット湖畔を偲はせるものがある。

丹後澤

平五石あやめのお濠、花は紫ゆかりの色よ、土にや情の根が深い。

鐘樓

朝夕の時を報へ、警報にも役立つといふ城山の鐘樓は、古風な餘韻を翳々と曳く、市民のなつかしいもの。

高麗橋

丘から丘へ、中々に架けられた詩の橋として、そのけだかい姿は、市の名所のひとつである。縣立高等女學校、青年學校、佐賀學舎、等が之の丘の、あちこちに。

縣社八幡神社

譽田別命を祀る。九月十四、五日の祭日には、烟塵の雲を起す程の賽者の難關、はれ着をきつた數万の人々、勇壯な騎射の流鏑馬と、神さびた巫女舞に満足してゆく。

配水池

や、傳染病院、縣立磐城中等學校、家政學院、刑務所、裁判所、第一、第二小學校、市立商業學校等の建物、高台の清浄な大氣の中に、點在してゐる。

縣社子嶽宮神社

大市の花園岩の石段が、四段百餘階層々と聳りたつ、延喜式内の官幣社稻倉魂命を祀る古は岩城四郡の總鎮守であつた、社内に八坂神社も祀られてゐる、又日露役で忠死を遂げた大越中佐の銅像。赤堀信平の力作、狛犬が光つてゐる。

松が岡公園

東北唯一を誇る櫻の公園である、上り常磐線、稻荷山トンネルを、つと出る途端に浴びる花の吹雪は、赤い百万燈の灯に映えて、丘の上下之花と人、夜を徹して亂舞する數万の士女の渦き、正に春の眺めである、市では全市を挙げて遊客歡迎に懸命になる時、當局は臨時車と最新式ガソリンカーと、公園前降り臨時停車場等のサービスを以て應援する。

藩公の銅像と忠魂碑

天下の大老伊井侯の異變後、老中の職を荷つて、維新劇の立役たりし藩公安藤信正公の颯爽たる立像と、戊辰役より今日までの國難の殉死者を祀れる忠魂碑と、今や咲き誇る萬葉の櫻と、千紫万紅の躑躅の中に、其の不滅の功績を榮えあらしめてゐる。

石森觀音

平澤から北一里、石森山中腹に觀音堂がある、大同元年德澤大師建立の秘佛で、磐城三十三番の札所。

岩城の山の雪のあけぼの

と、西行法師の詠まれし此の山の事、堂前から東方海を見晴らし、滄波天にひとしく百船雲より出て、雲に入るの眺めは格別である、春は蕨狩、秋は紅葉狩、茸狩等一日の清遊も好適。

澤村公の墓

有名な小川江開鑿の大恩人澤村勝爲公の墓所は、上平窪横山の利安寺にある、小川江開鑿の工事困難の折、澤村公大日如來のお告げて進捗を見たので、此の地に大日堂を建て利安寺を創立したとの傳説がある……平澤から自動車十分。

夏井川の龍燈流し

市民慰安の、無縁佛供養の龍燈流しは、萬城の人氣もの、橋下流れゆく龍燈の珍趣向に橋畔に集めく人の洪水は、天上爆破する火花の灯と呼應する、年々之の催しは目新らしく珍奇なものになつて行く。

尼子橋

稻田の上に架けて約百間、一名長橋といふ、永曆年間、藩主岩城則道之室、徳尼御前が民の洪水難を憂ひて建てられたと云ふ由緒あるもの、こゝは夏の涼風と螢に人を呼ぶ。

花の新川堤

新たに登場した名所、煉瓦三春の頃は、兩岸の櫻花正に花のトンネルを作つて、緩やかな小流れに姿を映す。

平小唄（その一）

花の新川、日ぐれの土手を、櫻吹雪にぬれ／＼戻りや招きまづぞへ街の火が

七夕小唄（その二）

千里通ふ一夜の逢瀬、晴れて大空星祭平ひら／＼五色の風は、大笹小笹さら／＼と戀の輪つなぎ千羽鶴

一日市

商人街と云はれる平市商人の、利益を度外視して、景品付きの大安賣市であるだけ、毎年、正月二日の早朝から、或ひは夜中から、堰を切つて、ドット押寄せる客の大浪は流石の大通りを動きもならぬ有様に汎濫する。

波立薬師

大同年間德澤大師の建立した幽邃な院景で名がある。

新舞子

東日紙の日本百景に入選せしもの、更に國立公園の候補地として絶讃されてゐる、自動車で十五分、廣重の筆を偲はせる千本松原と、銀のやうな白砂の眺めは給はき以上である。

沼の内

煩塵を絶つ靈境、辨財天賢沼の群魚の戯れは別界の趣きである。

塩崎海岸

には鬼岩、賽の河原、俄鬼道の奇勝がある。

塩屋崎燈台

豊間村の突角、岩頭百尺の上に屹立する巨人のやうな白亜の建物、最新式一等模範燈台、夜な／＼照す十萬燭光は海上を百里、常に海のSOSを豫戒する。

豊間

海水浴場は、燈台脚下の自然岩の防波堤に人工を加へて完璧としたもの、縣下理想的の浴場である、療養所同春院が茲に選ばれたのも偶然でない。

江名町

大通りの人家の軒下に慈濟を見る、江名濱の男性的な情調は、豪快で活潑な地方色を充分に見せてゐる、漁撈の發展振興から、福利施設、各種の組合等の文化的なものも唯一の特徴である。

中の作

江戸時代に船着場の豪奢で鳴らした地、それを物語る妓樓の存在は、明治時代まで残存した、最近築港完成で、更に將來性あるを確認された。

泉海岸

有名な金戸神社の海中渡御で知られた景勝の地、更に磯見山と、懸崖、劍濱の絶景を控へてゐる、驛から自動車十分計り。

附近（山の部）

夏井嶽谷（臨時列車）一名馬駒の名に日本百景に準ずるもの、初夏の新緑に交織する岩つゞの眺めは絶景と謳はれ、秋は満山に燃ゆる紅葉は車窓の名畫である、其の長壽に倣ふ長矩曲折、數里に跨る谷底に、漆々の流れがあつて更によい。大町桂月の和歌

關井井嶽（臨時列車）

千年昔の物語を有つ巨利、水晶山密蔵院常福寺、一名赤井嶽樂師は東北隨一の靈場、名物の舊八月十七日の縁日には、靈驗あらたかな安産守と縁結びで、遙か關東、東北からの賽者が、晝夜二日は山を埋める、山上磐城七濱、三大炭礦、及び平市一圓を双眸の中に入れる、去歲失火に本堂を失ふたが、目下復舊の工を急ぎ、遠からず舊觀の偉觀を見られやう。

◎ごされ赤井嶽ナリ

お樂師まゐり、龍燈見たさに、鹿と添寝の浮名どり。

磐城の諸炭礦

三大炭礦の有つ財的強味は偉大である、貨物鐵道が日本一であるのも、六万人の炭礦街の集團が示す力である、いづれも最新式設備と、文化的施設により、軍工の波に乗つた生産能率は、最盛期を見るの盛況にある。

小名濱

有封に入山、調子の好間、いはき音頭で夜を明す。

國寶白水阿彌陀堂

縁驛から自動車十分、國寶行基作の佛像がある。

長友地藏堂

大浦村長友長隆寺にあつて阿彌陀作の佛像がある、自動車二十分。

如來寺

國寶の佛畫にて有名（自動車十五分）夏井井。

專稱寺

奥州總本山（如來寺附近）。

溫泉とろく

（何れも自動車十分より三十分）。

神白礦泉

小名濱に近い山の手、浴客常に百人を下らぬ。

萱手、泉驛より半里、近代の娛樂設備あり。

二、高野、近より二十分、出の湯、入りの湯、何れも森閑たる深山の嵐氣を味ふに足るホ、小瀧、近めき／＼モダンな設備で名をあげてゐる。

（禁製複製）
昭和十二年六月一日發行
發行所 平市役所
原稿作者 鈴木 木 電話 一八八七
印刷所 榮進堂印刷所
東京市本所區錦町一ノ四



福島県寄贈

